

2019年度 事業概要



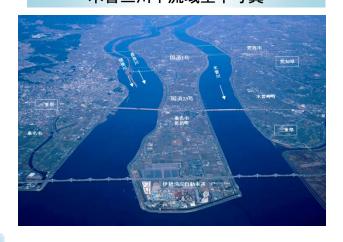
国土交通省 中部地方整備局 木曽川下流河川事務所

1. 木曽三川の概要

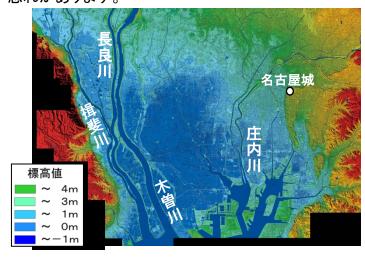
木曽川水系は、長野県木曽郡木祖村の鉢盛山を源とする木曽川と、岐阜県郡上市の大日ヶ岳を源とする長良川、岐阜県揖斐郡揖斐川町の冠山を源とする揖斐川の三川を幹川として、山地では峡谷をなし、濃尾平野を南流し、我が国最大の海抜ゼロメートル地帯を貫き、伊勢湾に注ぐ、我が国有数の大河川です。



木曽三川下流域空中写真



木曽三川下流部は我が国最大のゼロメートル地帯であり、万が一、堤防が決壊した場合、壊滅的な被害となる 恐れがあります。



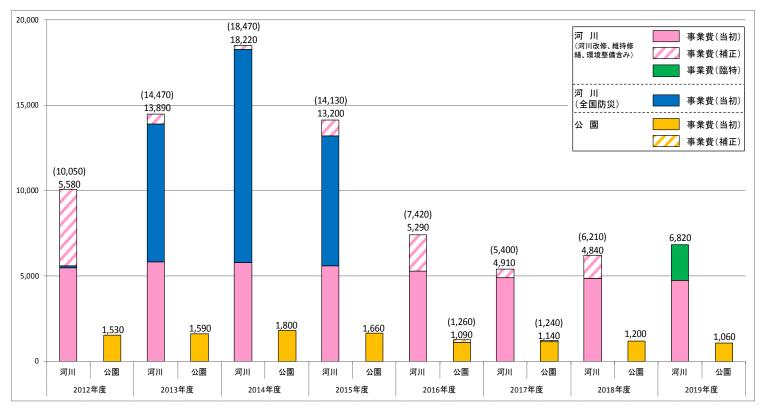
2. 2019年度の事業方針

- ◆ 気候変動に伴い頻発・激甚化する水害や切迫する大規模地震に対し、ハード・ソフトー体となった事前 防災対策を推進します。特に、近年の災害を受けて実施した重要インフラの緊急点検を踏まえた防災・減 災、国土強靱化のための3ヶ年緊急対策を重点的に推進します。
 - <水防災意識社会再構築ビジョンに基づく取組>
 - ◆揖斐川左岸本阿弥新田地区、木曽川左岸森川地区及び木曽川右岸福原新田地区において、堤防の 拡幅・護岸工事を実施します。
 - ◆長良川において、河川整備計画における目標流量に対応した河道掘削を実施します。
 - ◆2020年度の完成を目指し、揖斐川右岸太田地区において堤防整備工事を実施します。
 - ◆2020年度の完成を目指し、高潮堤防補強に伴う鍋田上水門の改築工事を実施します。

<防災・減災、国土強靭化のための3ヶ年緊急対策>

- ◆木曽川下流管内において、河道内樹木の伐開を実施します。
- ◆2020年度の完成を目指し、木曽川右岸鎌ヶ地地区において、堤防の耐震対策(液状化対策)を実施します。
- ◆木曽川下流管内の樋門・樋管等の耐震補強を実施します。
- ◆ 木曽川下流部の豊かで多様な水際環境を再生するため、地域との協働により、ヨシ原及び干潟を再生し、 生物の多様性の回復を図ります。また、愛西市かわまちづくり計画に基づき、ケレップ水制周辺のワンド再生 に向けてアクセス路を整備します。
- ◆ 国営木曽三川公園については、東海広場のパークゴルフ場を全面開園させるとともに、桑名七里の渡し公園の整備及び大江緑道の整備・用地取得を実施するなど、各拠点の整備・利用促進を図ります。

事業費の推移(2012年度(平成24年度)~2019年度(平成31年度)(当初))



- ※ 各年度の事業費は、補正予算等を含めた合計の事業費
- ※ 事業費は、業務取扱費を除く
- ※()書きは最終予算額
- ※ 臨特:消費税引き上げや防災・減災、国土強靭化のための3か年緊急対策に対応するための臨時・特別の措置

3. 河川改修事業

木曽三川下流部は、1887年(明治20年)に着手された明治改修によって三川分流工事が行われ、1959年(昭和34年)の伊勢湾台風災害を契機とした高潮対策事業等の改修を経て、ほぼ現在の姿となりました。

沿川は、我が国最大の海抜ゼロメートル地帯であり、万が一、堤防が決壊すれば壊滅的な被害となる恐れがあることから、堤防強化等の事業を推進し更なる安全度の向上を図ります。

◆〔木曽川森川堤防整備事業〕〔木曽川福原新田堤防整備事業〕〔揖斐川南濃堤防整備事業〕 〔揖斐川海津堤防整備事業〕

- ★ 木曽川左岸森川地区(愛西市)において、堤防整備を引き続き実施します。
- 木曽川右岸福原新田地区(愛西市)において、堤防整備を実施します。
- ◆ 揖斐川左岸本阿弥新田地区(海津市)において、堤防整備を引き続き実施します。
- ◆ 揖斐川右岸太田地区(海津市)において、2020年の完成を目指して特殊堤区間の堤防整備を引き続き実施します。

◆ [長良川下流域しゅんせつ事業]

◆ 長良川において、河川整備計画における目標流量(戦後最大洪水)を安全に流下させるために、 河道掘削を引き続き実施します。

◆ [木曽川鍋田上水門改築事業]

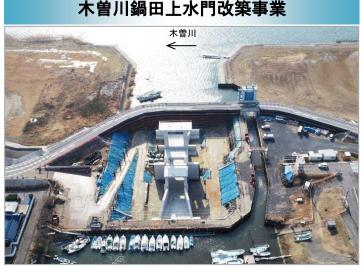
高潮堤防補強に伴い、鍋田上水門(弥富市・木曽岬町)の改築を2020年度の完成を目指して引き続き実施します。

◆〔木曽川津波対策耐震事業〕

今後、発生が懸念される南海トラフ巨大地震に備え、木曽川右岸(桑名市)において、河川堤防の耐震補強工事を引き続き実施し、地震に伴う津波等の浸水被害の軽減を進めます。なお、津波による浸水被害に対しては、2020年度までに、効果を発現させることを目指します。

◆ [木曽三川排水施設耐震対策事業]

木曽川下流管内の樋門・樋管等の耐震補強を実施します。 (勢濃排水ひ門、長島排水ひ管、川口水門、住吉水門、深谷水門、前川樋管、沢北排水機樋管、 大江排水ひ管、大江ひ門、高須輪中排水機ひ管)





河川改修事業(高潮区間)

	エ 事 名	地 先 名
1	2018年度(平成29年度) 木曽川鍋田上水門整備工事	木曽川左岸 桑名郡木曽岬町加路戸地先 木曽川左岸 弥富市前ヶ須地先
2	2018年度(平成30年度) 木曽川鎌ヶ地上流川表高潮堤防補強工事	木曽川右岸 桑名市長島町鎌ヶ地地先
3	2018年度(平成30年度) 木曽川福豊川表高潮堤防補強工事(H30補正)	木曽川右岸 桑名市長島町福豊地先
4	2018年度(平成30年度) 木曽川松ヶ島川表高潮堤防補強工事(H30補正)	木曽川右岸 桑名市長島町松ヶ島地先
5	2018年度(平成30年度) 長良川水質観測施設災害復旧工事	長良川左岸 桑名市長島町十日外面地先
6	2019年度(平成31年度) 木曽川鎌ヶ地川表高潮堤防補強工事	木曽川右岸 桑名市長島町鎌ヶ地地先
7	2019年度(平成31年度) 木曽川福豊川表高潮堤防補強工事	木曽川右岸 桑名市長島町福豊地先
8	2019年度(平成31年度) 木曽川赤地川表高潮堤防補強工事	木曽川右岸 桑名市長島町赤地地先
9	2019年度(平成31年度) 木曽川葭ヶ須下流川表高潮堤防補強工事	木曽川右岸 桑名市長島町葭ヶ須地先
10	2019年度(平成31年度) 木曽川葭ヶ須上流川表高潮堤防補強工事	木曽川右岸 桑名市長島町葭ヶ須地先
11)	2019年度(平成31年度) 木曽川下流河川構造物耐震補強工事(H30補正)	木曽川下流管内

黒字 2018年度(H30年度)からの継続工事 赤字 2019年度(H31年度)発注予定工事

※ 上記工事は4月時点における予定であり、今後変更する場合があります。

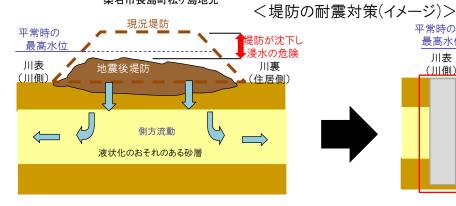
耐震対策の工法



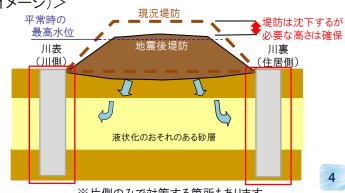
桑名市長島町松ヶ島地先



【川表】深層混合処理工法 掘削状況







※片側のみで対策する箇所もあります。

河川改修事業(一般区間)

	工 事 名	地 先 名
1	2018年度(平成30年度) 長良川下坂手河道しゅんせつ工事	長良川 桑名市長島町上坂手地先
2	2018年度(平成30年度) 長良川背割堤上地区河道整備工事	長良川 桑名市長島町上坂手地先
3	2018年度(平成30年度) 揖斐川太田築堤護岸工事	揖斐川右岸 海津市南濃町太田地先
4	2019年度(平成31年度) 木曽川森川築堤工事	木曽川左岸 愛西市森川町地先
5	2019年度(平成31年度) 木曽川福原新田護岸工事	木曽川右岸 愛西市福原新田町地先
6	2019年度(平成31年度) 揖斐川稲山護岸工事	揖斐川左岸 海津市海津町稲山地先
7	2019年度(平成31年度) 揖斐川西小島上流築堤工事	揖斐川左岸 海津市海津町西小島地先
8	2019年度(平成31年度) 揖斐川西小島下流築堤工事	揖斐川左岸 海津市海津町西小島地先
9	2019年度(平成31年度) 揖斐川太田築堤護岸工事	揖斐川右岸 海津市南濃町太田地先
10	2019年度(平成31年度) 揖斐川安江樋管改築工事	揖斐川右岸 海津市南濃町安江地先

黒字 2018年度(H30年度)からの継続工事 赤字 2019年度(H31年度)発注予定工事

※ 上記工事は4月時点における予定であり、今後変更する場合があります。

揖斐川南濃堤防整備事業

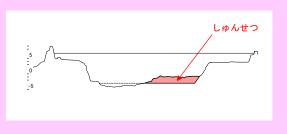




長良川下流域しゅんせつ事業



桑名市長島町上坂手地先



2019年度 工事予定箇所 31.0 木曽川下流管内図 30.0 ホ島豚 30.0 凡 例 河川改修 (高潮区間) 29.0 30.0 輪之内町 29.0 養老町 河川改修 (一般区間) 28.0 29.0 28.0 27.0 黒字\2018年度(H30年度)_からの継続工事 赤字 2019年度(H31年度)発注予定工事 26.0 25.0 稲沢市 25.0 26.0 岐阜県 24.0 木曽川下流河川事務所管内で 25.0 広域に実施する工事等 23.0 24.0 海津市 22.0 ▶:⑪木曽川下流河川構造物耐震補強工事 23.0 0 海津出張所 6,7,8 21.0 22.0 愛西市 20.0 (3), (9), (10)20.0 19.0 国道258号 いなべ市 190 18.0 木曽川 17.0 18.0 津島市 16.0 南濃出張所 〇 15.0 愛知県 14.0 4 三重県 13.0 多度川 13.0 **(5)** 東名版自動車進 近鉄名古屋線 12.0 肱江川 11.0 30 JR関西本線 o 弥富出張所 10.0 長島出張所O 1),2 1 8.0 桑名市 **(5)** 東員町 2,3,4,6,7,8,9,10 5.0 5.0 町 国道23号 木曽川下流河川事務所 桑名出張所 4.0 弥富市 3.0 2.0 2.0 伊勢湾岸自動車道 1.0 1.0 د َ 0.0 朝日町 市市日四 川越町 ▲ 木曽川下流河川事務所管理区間 ※工事予定箇所は今後変更となる場合もあります。

4. 環境整備事業

本事業では、木曽三川下流部の豊かで多様な水際環境を再生するため、地域との協働により、ヨシ原及び 干潟を再生し生物の多様性の回復を図ります。

河川整備計画(2008年(平成20年)3月策定)の理念に則った「自然再生計画」(2012年(平成24年)3月)に基づき、ヨシ原及び禹干潟の再生などの環境整備を進めてきましたが、2018年(平成30年)2月より自然再生計画の点検及び見直しを行うために、「木曽三川下流域自然再生検討会」を開催し、再生した自然環境が持続的なものとなるように、地域住民等との連携や持続性を考慮した自然再生の検討を行っていきます。

木曽川下流域自然再生検討会の開催

木曽三川下流域に関わりが深い学識者・有識者に参加いただき、木曽三川下流域の現状や変化、環境上の課題等から、 自然再生計画の点検や、計画の見直し検討等を行います。



愛知黎明高等学校、河川環境保全モニターとの協働

ヨシの移植を行い、生育調査および維持管理、モニタリングまでの一連の過程を協働して実施します。



愛西市かわまちづくり

船頭平閘門やケレップ水制といった土木遺産や多様な自然環境など、魅力ある地域資源を有している愛西市において、これらの資源を繋ぐ観光ルートの充実化により更なる観光振興、地域活性化等を図るための「愛西市かわまちづくり計画」が2018年(平成30年)3月26日に登録されました。

2019年度は、ケレップ水制周辺のワンド再生に向けてアクセス路を整備します。

新規事業化



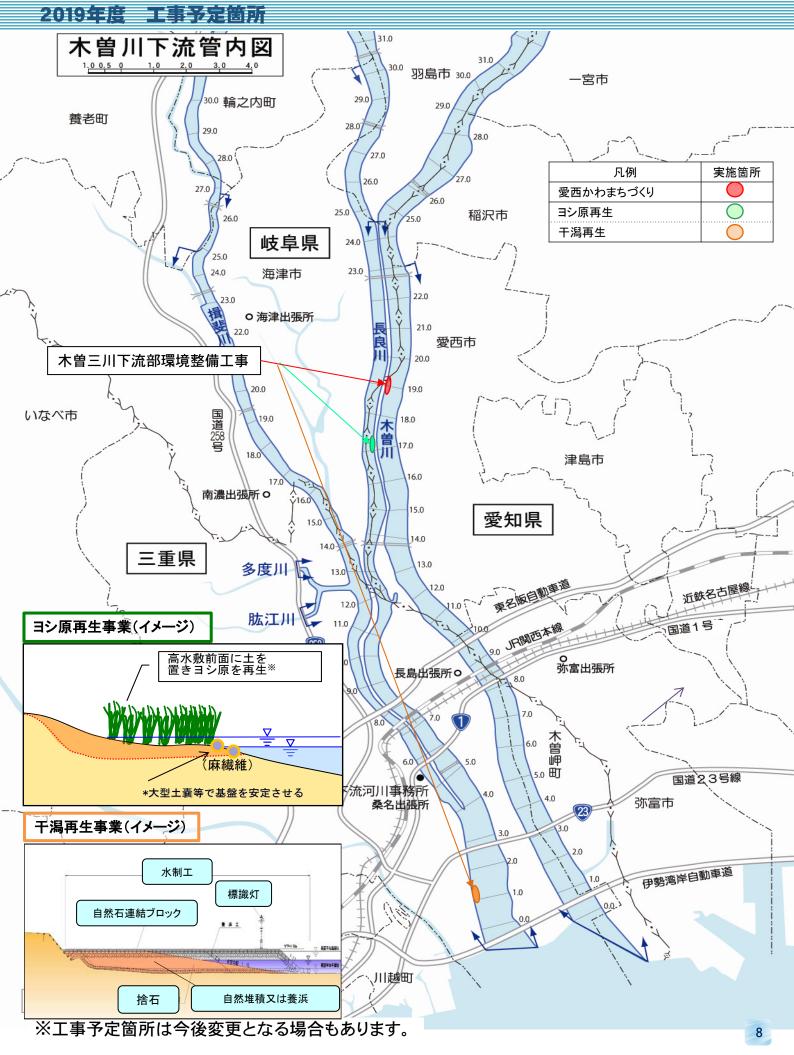


木曽三川生態系ネットワーク推進協議会(ニホンウナギ生態系ネットワーク推進部会)

木曽三川流域における生態系ネットワーク形成を推進するための効果的な推進手法・展開方策について検討しています。 2018年度(平成30年度)は、木曽三川下流域における本川・支川および堤内地の連続性【海から田んぼまで】を確保し、河川等の水際環境を中心とした生態系ネットワークの強化・再生と合わせ地域振興を目指すため部会を設立しました。 2019年度は、ニホンウナギ生態系ネットワーク推進計画作成に向けた調査・検討を行います。







5. 河川管理

- ◆ 木曽川水系河川整備計画に基づく木曽川水系河川維持管理計画の見直しを行い、河川の監視・評価・改善の観点を 踏まえ河川管理を実施します。
- ◆ 堤防及び護岸、城南排水機場ほか6ヶ所の排水機場、津屋川水門ほか25ヶ所の水門、樋管、船頭平閘門、赤須賀 陸閘等河川管理施設の維持管理及び操作を行います。
- ◆ 管理延長約156kmの河川巡視(平常時、洪水時)を行い堤防の損傷発見、不法占用、不法投棄等の防止を図ります。 また、上記巡視時において、堤防の損傷等を速やかに見つけられるよう、堤防の法面管理(例:堤防除草)を実施しま す。
- ◆ 「防災·減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」として、河道内樹木の伐開を実施します。
- ◆ コスト縮減と資源の有効活用のため、刈草等の堆肥化の無料配布、河川内樹木の公募による伐採・伐木の無償提供 などを事務所HPでも広く公募しながら地域と協働して進めます。
- ◆ 千本松原において、カワウが営巣し、松枯の要因となるため、追い払い作業を引き続き試行していきます。
- ◆ 2007年度(平成19年度)より実施している不法係留船対策により対象船舶は減少していますが、現在も約279隻 (2018年度(平成30年度)確定報)の不法係留船が存在しています。2018年(平成30年)2月に第2次計画を策定、 2022年度までに重点的撤去区域において、計画的かつ段階的に撤去措置が完了するよう調整を図っていきます。
- ◆ 河川敷地の占用、工作物の設置に関する河川法許可の業務を適切に行っていきます。



河川巡視(直営)状況





樹木の無料配布(配布状況)



堤防法面管理(除草)



刈草等の堆肥化(配布状況)



樹木の繁茂状況(揖斐川26k付近 2018. 6時点)

(千本松原のカワウ対策) 鷹の鳴き声を流しながら巡回



簡易代執行(海津市海津町油島地区) 排水機場の維持管理(ポンプ修繕状況)



6. 国営木曽三川公園事業

国営木曽三川公園は、木曽川・長良川・揖斐川の木曽三川が有する広大なオープンスペースと豊かな自然環境を活用し、東海地方の人々のレクリエーション需要の増大と多様化に応えるために設置された公園です。三派川地区・中央水郷地区・河口地区の3地区(計画面積約6,100ha)からなり、現在上下流合わせて13拠点(約290ha)が開園しており、年間約1,000万人前後の方々に来園いただき利用して頂いております。今年度、東海広場のパークゴルフ場を全面開園させるとともに、引き続き各拠点において整備・管理運営を進めます。

木曽三川公園センターの整備等

◆ 中央水郷地区の自然や歴史文化を幅広く紹介・情報発信するとともに、多くの人々が集い、交流する総合拠点として位置づけられています。今年度は、治水展望タワーの耐震化検討のため、地質調査を進めます。

◆(仮称)大江緑道の整備工事等

水郷景観や水辺に親しむことのできる公園として供用している アクアワールド水郷パークセンターと一体的な利用を目指し、 地元と連携を図りつつ大江緑道の事業を促進するとともに引き続き用地取得、堀田エリアの整備工事を進めます。

桑名七里の渡し公園の整備工事等

木曽三川を軸に人や物の交流が生まれ、文化を育み、地域の繁栄につながった歴史を紹介する情報発信拠点として、今年度も引き続き住吉地区の整備工事を進めます。また、七里の渡し地区では基本設計を進めます。





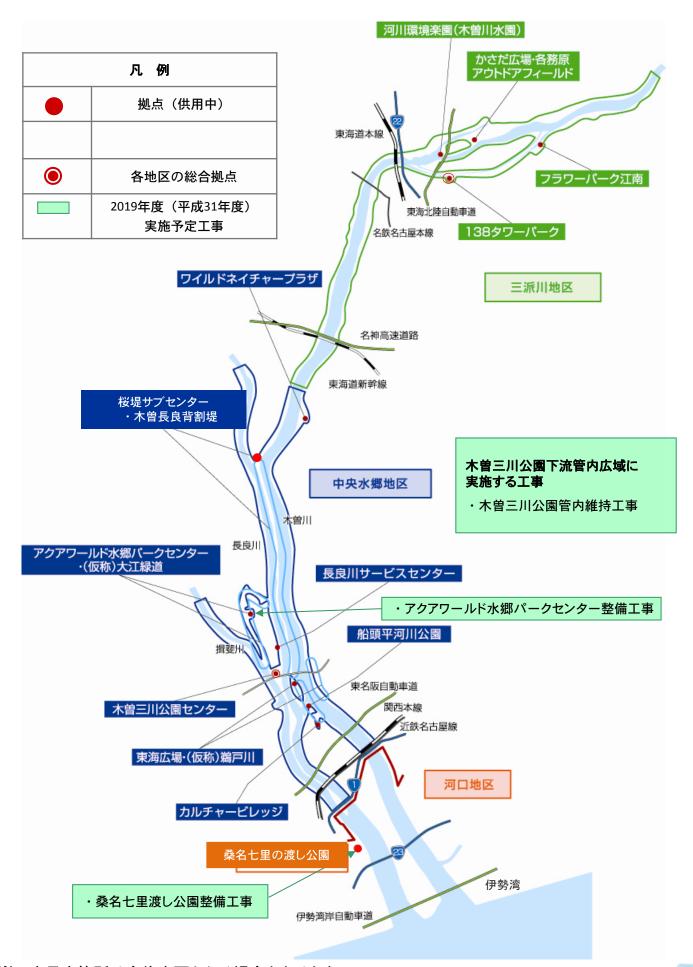












7. 調査・計画

- ◆河川の整備や維持管理、水防に必要な水位や流量の観測を行います。
- ◆河川環境の保全のため、水質や魚介類、ヨシ原及び干潟などの自然環境調査を行います。
- ◆ 濃尾平野の地盤沈下状況を把握するため、継続して水準点の観測・監視を行います。



水準点の観測状況

8. 防災·危機管理

犠牲者ゼロを目指した取組

◆ 広域的、長期的な浸水が発生した状況においても犠牲者ゼロとなることを目指し、8 市町村(桑名市、木曽岬町、海津市、弥富市、愛西市、津島市、蟹江町、飛島村)とともに広域避難実現に向けた取り組みの発信、意見交換、検討を進めます。



第3回木曽三川下流部 広域避難実現プロジェクト(2018.6.9)

「水防災意識社会」の再構築に向けた取組

- ◆ 木曽川下流水防災協議会を水防法に基づく法定協議会に移行しました。
- ◆ プッシュ型配信(緊急速報メールを活用)により、洪水の危険性を流域住 民へ迅速に情報提供します。(海津市、弥富市、愛西市、津島市、蟹江町、 飛島村)
- ◆ 危機管理型水位計の設置により、氾濫 の危険度の情報を直接的に把握します。 (13カ所設置)。





災害時の支援

- ◆ 災害時に県市町村の要請によって国土交通省の災害対策車両・応援職員を派遣しています。
- ◆ 大きな災害が発生したときは、被災地にTECーFORCE(緊急災害対策派遣隊)を派遣し、被災状況調査、 被害の拡大防止、早期復旧に関する地方公共団体等の支援を行います。

TEC-FORCE活動状況



2018年7月豪雨災害 被災調査 (2018.7.13~19 愛媛県西予市)



2018年7月豪雨災害 排水ポンプ車の派遣 (2018.7.7~12 岡山県倉敷市)



北海道胆振東部地震 照明車の派遣 (2018.9.6~15 北海道厚真町)

地域との連携

- ◆ 2019年は、伊勢湾台風から60年の節目の年となります。木曽三川下流域の地域防災力の向上に向 け、災害対策車両の展示など住民啓発活動を関係自治体と連携して実施するほか、市町の防災訓練 に参加して、積極的に防災広報を推進します。
- ◆ 木曽三川下流部の治水事業や治水史、豊かな河川環境、適正な水面利用等について紹介し、河川の 整備、環境の保全・再生、利用推進に向け、地域住民や関係機関との連携を推進します。
- ◆ 木曽三川の歴史的治水や利水、明治改修による三川分流など社会資本ストックの重要性の理解を深 めて頂くため、木曽川流域の治水利水の歴史・文化の調査研究資料「KISSO」を発行します。

県境を越えた地域との連携

- ◆ 木曽三川下流域の歴史的治水、舟運や街道、産業文化など観光資源の情報連携、防災施設の多面 的利用、を図ることにより、より多くの来訪者に社会資本ストックの重要性を満足度向上をするために、 広域な観光連携を推進します。
- ◆ 木曽三川下流域にある「輪中」や「水屋」、「堀田」など独特の土地利用形態、特有の歴史文化を市町 の水郷資料館や道の駅との情報共有を図り、来訪者向け案内マップや連携イベントを行います。

住民との連携・協働

◆ 木曽三川下流アダプト制度による河川の美化・清掃活動の支援や、河川協力団体による清掃活動の ほか、木曽三川下流地区広域観光連携協議会を活用して、観光歴史ボランティアによる歴史的治水 の説明を支援するための交流視察会や、木曽三川下流開放講座を実施します。



海津市と郡上市の上下流小学生交流の支援



観光歴史ガイドボランティアとの連携(海津市視察交流会)

ミズベリング、かわまちづくり

- ◆ 水辺環境に対する社会の関心を高め、その新しい活用 の可能性を切り拓いていくための官民一体の協働プロ ジェクト「ミズベリング・プロジェクト」を推進します。
- ◆ 水辺空間の利活用を通じた観光振興や健康増進等に より地域活性化に貢献する「まちと水辺が融合した良 好な空間形成(かわまちづくり)」を推進するため、市町 や地域住民等と連携を深めていきます。



国主交通省工部地方整備局大兽川下流河川事務所

〒511-0002 三重県桑名市大字福島465
TEL:0594-24-5711(代表)FAX:0594-21-4061(代表)

http://www.cbr.mlit.go.jp/kisokaryu/

総務課	TEL 0594-24-5711	経理課	TEL 0594-24-5712
用地課	TEL 0594-24-5713	工務課	TEL 0594-24-5714
調査課	TEL 0594-24-5715	管理課	TEL 0594-24-5717
占用調整課	TEL 0594-24-5718	河川公園課	TEL 0594-24-5719

TEL 0594-24-5721

防災情報課

桑名出張所 〒511-0002 三重県桑名市大字福島 465 TEL 0594-23-6013 南濃出張所 岐阜県海津市南濃町田鶴473-2 〒503-0533 TEL 0584-56-1136 弥富出張所 〒498-0021 愛知県弥富市鯏浦町東前新田122-2 TEL 0567-67-0229 長島出張所 〒511-1112 三重県桑名市長島町大倉17-52 TEL 0594-42-0257 海津出張所 〒503-0647 岐阜県海津市海津町東小島23 TEL 0584-53-0483